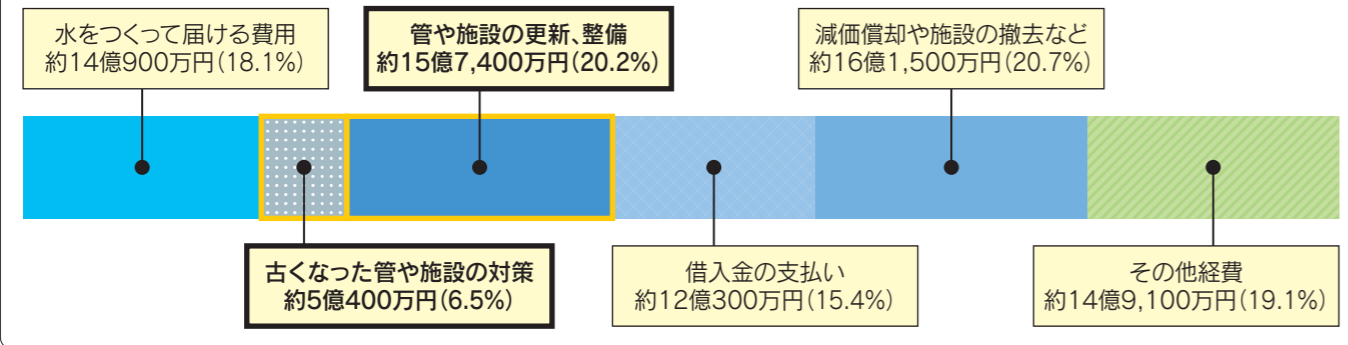


特集 令和8年度 予算のお知らせ

水道事業会計 77億9,600万円

久留米市の水道は、水道管の耐震化を進めている一方で、老朽化した管や施設も多く抱えています。そのため、今後も安定的な水道供給を継続していくためには、耐震化と併せて施設の更新も着実に進めていく必要があります。

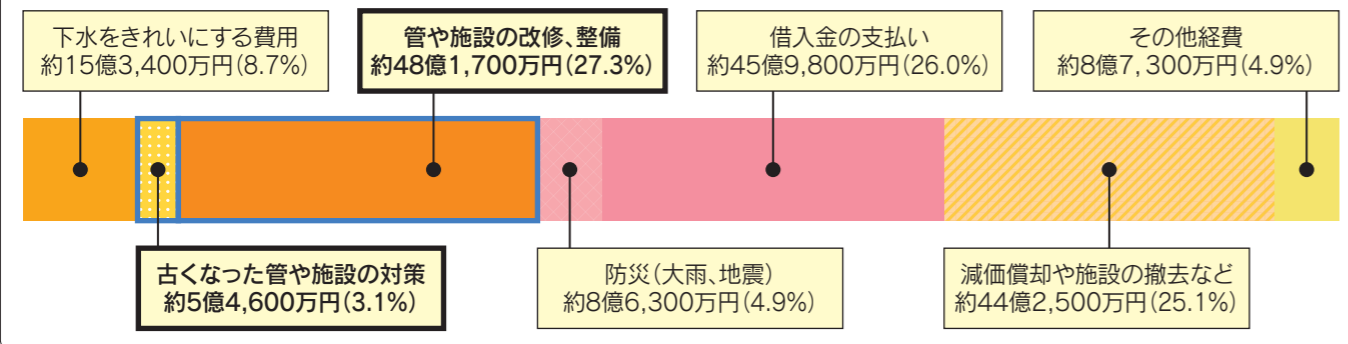
◆令和8年度予算の内訳◆



下水道事業会計 176億5,600万円

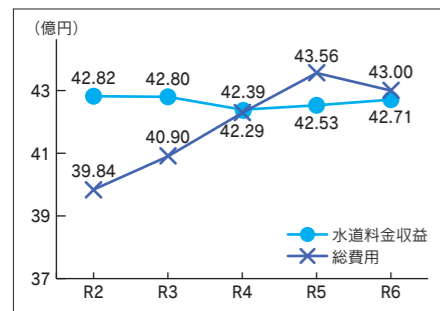
久留米市の下水道は、老朽化した施設の修繕や更新費用が年々増加しています。また下水道が普及していない地域の整備に伴い、企業債(借入金)の残高も高止まりの状態となっています。こうした状況により、将来的な財政負担の増加が懸念されることから、更なる経営改善を図り、持続可能な事業運営を維持しなければなりません。

◆令和8年度予算の内訳◆

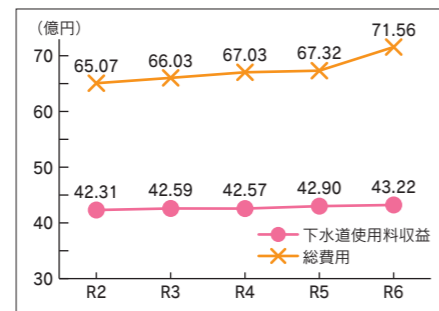


上下水道事業の経営状況

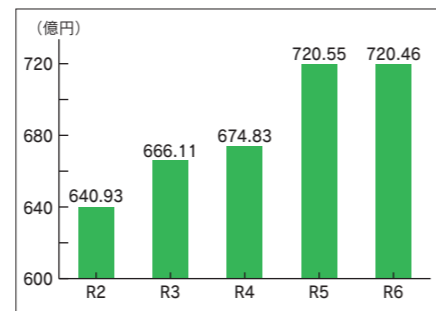
久留米市の水道・下水道事業は、人口減少や節水機器の普及に伴い水の使用量が減少し、料金収入は伸び悩んでいます。一方、施設の老朽化に伴う修繕や更新費用の増加、光熱水費や水質管理に使用する薬品費、人件費の高騰により、経営環境は厳しさを増しています。



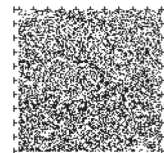
水道料金収益、費用の推移



下水道使用料収益、費用の推移



下水道企業債(借入金)の残高推移



今後も引き続き計画的な施設更新・規模の見直しや経費削減など様々な視点から経営改善に取り組み、持続可能な事業運営を図っていきます。

☎ 総務 TEL:30-8504 FAX:30-8570

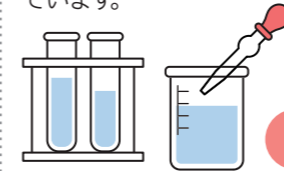
「PFOS及びPFOA」は水質基準を満たしています



久留米市の水道水は、国が定めた水質基準を満たしておりますので、安心してご利用ください。

定期的に検査しています

「PFOS及びPFOA」については、月に1回、原水(水道水の元となる筑後川の水)と浄水(製品としての水道水)を検査しています。

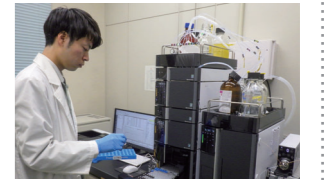


PFOS及びPFOAについて詳しくはこちら



信頼性の高い検査を実施

令和8年4月から、久留米市企業局は「PFOS及びPFOA」についても水道GLP認定を取得し、より信頼性の高い検査を実施しています。



水道GLPについて詳しくはこちら



PFOS及びPFOAとは: 水や油等をはじき、汚れの付着を防ぐことに利用されてきた有機フッ素化合物の代表的なもので、自然分解が遅く環境や健康への影響が懸念されるため、現在は製造・使用が原則禁止されています。

水道GLPとは: 第三者機関(公益社団法人日本水道協会)が、水道の水質検査機関について、適正な検査体制や検査結果の信頼性・精度管理を客観的に評価し認定する制度です。

☎ 浄水管理センター TEL:43-5826 FAX:43-7910

下水道管路の特別重点調査を実施しました



令和7年1月28日に埼玉県八潮市で発生した下水道管の破損に起因すると考えられる道路陥没事故を受け、国土交通省が、直径2m以上かつ平成6年度以前に設置された管路を対象とする全国調査を要請しました。

これを受け、久留米市は対象となる管路1,961mをテレビカメラと目視で点検しました。

調査の結果、重大な事故に繋がるような空洞・腐食・破損等は認められませんでした。軽微なひび割れなどが見つかった管路が10か所あり、令和8年度中に対策を実施する予定です。



なお要請の有無にかかわらず、久留米市では日常的に下水道管路の点検を行っています。今後も市民のみなさまへ快適で安心な暮らしを提供できるよう努めていきます。

久留米市での重点調査実施の様子



全国特別重点調査の詳細はこちら

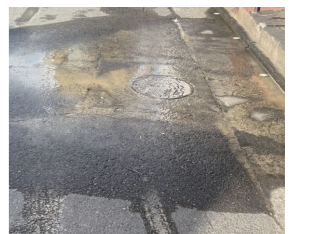
☎ 下水道整備課 TEL:30-9079 FAX:38-2694

久留米市上下水道部からのお願い

もし、上下水道のマンホール蓋のぐらつきや周辺の舗装がくぼんでいるところ、道路の濡れや水が流れている状況を見つけた場合は、上下水道部にお知らせください。市民のみなさまからの通報が、道路の陥没や漏水の早期発見・修繕につながります。ご協力をよろしくお願いいたします。



マンホール蓋のぐらつき



路面に漏水している様子

☎ 上水道整備課

TEL:30-8525 FAX:38-2694

☎ 下水道整備課

TEL:30-9079 FAX:38-2694

夜間、休日・祝日の連絡先 TEL:30-8500(月~金)17:15~翌朝8:30 (土・日・祝日・年末年始)24時間受付

